

長野市誌 第六卷 歴史編 近代二

目次

口 絵

刊行のことば

長野市長 塚 田 佐

緒 言

例 言

第五章 大正期の市民活動と経済の動向 一

第一節 市町村自治の拡大と大正デモクラシー 二

一 市町村政の新展開と地方改良政策 二

地方改良政策の展開と市町村民 長野市の財政と市民 町村財政と住民の負担

長野市の都市計画 市制施行記念と市徽章・市旗等の制定

二 国政・県政と普通選挙制度の実現 三

第一次憲政擁護運動と長野 国政・県政選挙と普通選挙運動 等級選挙制度の廃止と市町村民

長野県庁舎・県会議事堂の焼失と再建

三 警察行政の展開と司法制度 五

警察行政機構の整備と特別高等課の設置 警察署廃止反対運動と警廃事件

裁判所・陪審制度と刑務所

四 市町村の合併と郡制・郡役所の廃止……………八二

一町三カ村の編入合併 周辺町村の合併問題 郡制・郡役所の廃止と連合事務所の設置

五 第一次世界大戦とシベリア出兵……………九四

第一次世界大戦・シベリア出兵と長野 軍人共励会と帝国在郷軍人会分会の活動

第二節 農工業の進展と農民組織……………一〇四

一 第一次産業の発展……………一〇四

農業技術員養成の農事講習所 米麦作の農事改良と商品作物 養蚕経営の改善

林業と水産業

二 農業団体の活動……………一三三

農会と農家小組合 産業組合の発展

三 製糸業の盛衰と諸工業……………一三六

松代製糸業と産業組合製糸 在来工業と新しい工業の動き 電気・ガスの供給事業

印刷出版事業の発展

第三節 商業・金融業の発達と交通の整備……………一五八

一	商業の発展とにぎわい		一五八
---	------------	-------	-----

	物流の進展と市場の発達		
	商業会議所の活動と商品陳列所		
	小売業の業態とにぎわい		

二	金融機関の統廃合		一六九
---	----------	-------	-----

	銀行合同と安田銀行の進出		
	長野市庶民信用組合の成立		
	郵便貯金と在来金融		

三	道路整備と交通		一八五
---	---------	-------	-----

	中央通りの改修		
	市町村内道路の新設と改修		
	河東鉄道と長野電気鉄道の開業		

	自動車交通網の発達		
--	-----------	-------	--

第四節	市町村民の生活の変化		二二五
-----	------------	-------	-----

一	市町村人口の推移と海外移住の動き		二二五
---	------------------	-------	-----

	国勢調査の実施と市町村人口の推移		
	市町村民の移住		

二	都市と農村の生活の変化		二三三
---	-------------	-------	-----

	交通の利用と普及		
	通信の普及と活用		
	住まいと生活の向上		
	長野市上水道の設置		

	松代町の簡易水道と上水道の設置		
--	-----------------	-------	--

三	医療と防災		二四三
---	-------	-------	-----

	疾病と医療		
	大室・保科・小松原の大火		
	災害と千曲川治水事業		

第五節	社会問題の発生と社会運動		二六三
-----	--------------	-------	-----

一 市民生活の困窮と米騒動 三三

米価高騰と市民生活の困窮 長野市の米騒動 市町村の米騒動対策

二 社会政策と社会事業 三八〇

職業紹介の開始と方面委員制度 市町村の教護と救護事業

三 小作人組合と労働組合の結成 三八五

小作人組合の組織化と小作争議 労働者の生活と労働者争議

四 人権擁護と差別撤廃の運動 三九四

信濃同仁会の設立と活動 県水平社の創立と差別撤廃の運動

第六節 教育と文化活動のひろがり 三〇八

一 学校教育の進展 三〇八

小学校の増設と一校制 補習教育から実業補習学校へ 実業補習学校教員養成所の設立

農学校・工業学校の新設と発展 女子高等教育機関の新設と発展 半玉や子守の学級と夜学

長野盲啞学校と遅進児の教育 私立幼稚園と保育所・託児所

二 通俗教育の進展 三五七

青年会の成立と自治化への動き 郡市連合青年団の結成と青年運動 婦人会・婦人団体の活動

長野市教育会の通俗教育

三	自由教育とその弾圧	三七九
	義務教育延長と師範三校問題	東西南北会の主張と行政の弾圧
	信州白樺派の運動と村民による排斥	新教育の研究学級
四	宗教の新動向	三九六
	仏教界の動向	在家仏教の諸活動
	善光寺仁王門の再建	神道と教派神道
五	学芸と報道	四一三
	郷土研究と文芸・学術	報道機関と新聞・時報
六	スポーツ	四二〇
	野球・庭球の発展	陸上・水泳競技の普及
	ウィンタースポーツの普及と登山の大衆化	
七	慰安娯楽の変化	四三五
	小屋掛けから常設劇場へ	松井須磨子の長野公演
	娯楽に映画・相撲等	
	第六章 普通選挙の実施と昭和恐慌	四四三
第一節	普通選挙法の実施と恐慌	四四四
一	普通選挙法の施行と市町村会議員選挙	四四四

普通選挙下の県会議員・衆議院議員選挙 首長・市町村会議員と市町村民

二 恐慌下の農村と農業政策の転換 四四五

農産物生産の多様化 食糧増産と流通 産業組合・農会の活動

三 農業水利事業 四六五

善光寺平農業水利改良事業 上中堰下堰等のおもな用水事業

四 満州事変と市町村民 四七七

満州事変と地域の動き 戦争の拡大と市町村民

第二節 製糸業の衰退と商業・金融業界の再編 四八八

一 恐慌と工業 四八八

営業製糸と組合製糸の動向 長野工芸指導所と木工業

二 商業・金融業界の再編 四九六

商業の沈滞と回復 商工会議所と商権擁護運動 銀行の破綻と八十二銀行の成立

第三節 恐慌対策と市町村民の生活 五二一

一 市町村の行財政 五二一

租税滞納と財政悪化 地方税制の改正と地方債の発行 失業者の増大と住民の生活苦

二 鉄道・道路改修と失業救済事業 五三五

おもな道路と橋梁の改修	長野駅舎の改築
三 農村経済更生運動の展開	五三三
経済更生運動の展開	負債整理組合と自作農創設
四 医療と防災	五四〇
医療と医療施設の設置	市町村の防災対策と活動
第四節 社会運動の激化と行きづまり	五四九
一 農民・労働運動の高まりと分裂	五四九
日本農民組合支部と農民自治会の活動	小作争議と農民運動の衰退
労働運動の展開	五五九
二 人権擁護運動の推移	五六三
水平社と信濃同仁会の活動と推移	廃娼運動の展開
三 警察行政の強まりと弾圧	五七七
治安維持法による農民・労働運動の弾圧	特別高等警察の活動
第五節 恐慌下の教育と文化	五八五
一 自由教育から教学刷新へ	五八五
郷土教育の振興と郷土読本の作成	二・四事件と教学刷新
二 学校教育の変容	五九六

県立女子専門学校の設立と長野第二高等女学校の併設	不況下の実業補習学校と青年訓練所の併設
私立諸学校の成立	農村の窮乏と給与未払い問題
三 社会教育団体の動向	六五
県連合青年団の結成と動向	愛国婦人会と女子青年団の動向
四 宗教の動向	六四
仏教とキリスト教の動向	昭和の神道界と象山神社の創立
五 学芸と報道	六三
文芸と芸術	NHKのラジオ放送開始と報道
	県立図書館の設立
六 慰安娯楽とスポーツの発展	六三
演芸と菊田劇場の設立	球場・プールの設置と各種スポーツ
	各種スポーツ大会と武道の発展
第七章 戦時体制の進行と敗戦	六二
第一節 戦争の拡大と翼賛政治体制の成立	六三
一 政党政治の行きづまりと市町村民	六三
政党政治の行きづまりと市町村会議員選挙	政党と政治諸団体の動向
二 大政翼賛運動の展開	六八

政党の解散と大政翼賛会の発足 翼賛選挙の実施

三 戦争の拡大と満州移民 六八〇

日中戦争下の長野市の行財政 日中戦争への動員と国民精神総動員運動 満州開拓と市町村民

第二節 諸産業の軍事的再編と交通・通信 七〇六

一 第一次産業の統制と奨励 七〇六

農業の統制と食糧増産政策 人手不足と労力補給

二 工場誘致と電力会社 七二五

鐘紡と軍事工業 長野電気から中部配電へ 長野工業学校の学科増設と県立工業試験場

三 商業の統制 七三〇

商工会議所の役割 物資の統制

四 交通業の整備と統制 七四〇

善白鉄道の開業と同施設の撤去 長野飛行場の設置 自動車会社の統制と自動車学校の創設

第三節 戦時体制と市町村民 七六三

一 太平洋戦争の開始と市町村 七六三

開戦と市町村民の動向 戦時下の市町村行財政

二 戦時下の市町村民の生活 七七二

警防団の結成と防空訓練 常会の組織化と隣組活動 統制経済と市町村民の生活

建物の強制疎開と市街の変貌

三 太平洋戦争の激化と出征兵士・犠牲者の増大 七九三

戦局の転換と犠牲者の増大 市町村民の勤労働員

四 太平洋戦争の終結 八〇一

長野市域への疎開と工場疎開 松代大本營の建設と強制労働 長野空襲と敗戦

第四節 戦時下の教育と文化 八二四

一 学校等の変遷 八二四

国民学校と戦時教育 川端小学校と市立中学校の設置

長野高等工業学校の設置と工業専門学校への改組

二 戦時体制と学校教育 八三六

戦時下の青年学校 満蒙開拓青少年義勇軍の送出 学童疎開の受け入れ

勤労奉仕と勤労働員 幼稚園と託児所

三 社会教育諸団体 八六七

国防婦人会・青少年団の結成 翼賛壮年団の結成

四 宗教・文化の統制 八七七

五	仏教・キリスト教と文化人弾圧	戦時下の神道と信濃招魂社	文芸・報道・通信の弾圧と統制	八八九
	娯楽・スポーツの変容			

映画・演劇の変容とラジオ スポーツの変容

あとがき

近現代史専門部会部員・調査執筆員

執筆分担

監修者

刊行委員

編さん準備委員

編さん委員

調査協力員

事務局・編さん室職員